



「責任を果たす」とは？

テレビ局の記者会見が10時間を超えて行われた。
夕方4時から始まり、終了は午前2時を過ぎていたとか。
社長と会長は責任をとって辞任とのこと。

政治家や企業のトップが、問題発覚後に責任をとって辞任することは多い。
でも…、と思うことがある。
自分の不祥事（裏金とか）によって辞任することは、当然と思う。
だけど、企業のトップが、問題について真相も明らかになる前に辞任というのは？？
辞任すれば責任を果たしたことになるのだろうか？ 残された社員は？

かつて面接において「責任をとるとは、一言で言い換えるとどういうことか？」と聞かれた。
答えに窮し、「誠意を持って謝罪する」のような回答をしたがあきれられた。
おそらく「謝れば済むのか？」と、思われたのだと思う。
正解は未だに分からない。

その後、民間企業の管理職として働く友人と「責任をとるとは？」について話し合った。
安易に謝っても、そして辞任しても、責任を果たしたことはないだろう。
問題が起きたら、その解決のためにやり切ることが、責任を果たすということだろう。
全てやり切った後、今後の方向性も示しつつ、辞任することはあってもよいのでは？
話し合った結果、「腹を括ってやり切る」「覚悟をもってやり抜く」という意見で落ち着いた。
そんな話合いだったと記憶している。
テレビ局のトップは、腹を括ってやり切ったのだろうか？

昨晚の記者会見では、質問が真相解明と言うより、ただ暴走している記者もいたように思う。
問題を起こした企業や、そのトップを糾弾し、悦に入っているようにも感じた。
今回の問題で一番守らなければならないのは、誰だろうか。
記者会見の中身が、守るべき人への二次加害になってはいけない。
集団いじめを見ているような嫌な気分になり、テレビを消した。

学校も様々な問題が起こる。その時に守るべきは？
私たちが守らなければならないもの、それは生徒の命・人権であり、教職員の命・人権である。
そして授業（学びの保証）であり、学校の施設・設備である。
間違っても学校や管理職の体面ではない。
トップが何を守るべきだったのか、今回の事案はそこを見誤ったのだと個人的には思う。

さて、「責任を果たす」とは、管理職だけの話ではない。
学級担任、教科担任、分掌、部顧問等々、任された担当で腹を括ってやりきってもらいたい。
今年度も残り二ヶ月、一人一人が覚悟をもってやり抜きましょう。よろしくお願いします。